

春動く

新野祐子

春隣ノスリ腹ぺこでもしゅんと

『出稼ぎの時代から』出版を記念する八句  
本売れぬ時代に本を多喜二の忌

冬座敷椅子テーブルにかつての若人

炭つげばマングローブ材と箱に

「村どうする」議論に負けず寒雀

主役にならなかつた人々に冬虹立ち

熱爛やごごえし夜々を忍びては

菜っ葉服脱いで野の人手櫛引く

鉦脈の新たな切羽春動く

白鳥帰るペン友という愉しみも